

# 釜ヶ崎講座 ニュース

No. 69号

発行日 2023・12・11

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋  
2-9-12-202

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7  
釜ヶ崎日雇労働組合気付

事務局電話 090-3823-9794

郵便振替 00940-1-132778

メール kamakouza@cwo2.bai.ne.jp

ホームページ <http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>

**☆第54回釜ヶ崎越冬闘争が今冬もはじまります！**

**(2023・12月28日～2024・1月3日)**

**なかまを守るため、すべての皆様に参加を呼びかけます！**

**☆越冬期間中に釜ヶ崎講座は「12・31連帯行動」ならびに**

**「新春・釜ヶ崎歩きツアー」を開催します！**

会員・読者の皆様、釜ヶ崎講座です。いつもご支援・ご協力、またカンパご支援に感謝いたします。紙面を借り、厚く御礼申し上げます。さて、1年の動きはめまぐるしく、早くも「釜の越冬の時節」が来ました。

こうした毎年の越冬の支援行動を終わらせる日がいつ来るのか？その思いを抱きながらも、再びこの季節を迎えることとなりました。温暖化・暖冬と言われる昨今ですが、いつ来るか予測だにできない厳寒期を迎えています。世界では戦争による民衆への犠牲の転嫁の結果、人々の心は冷え、物価ははねあがり、私たちの生活は困苦が増大しています。非正規・下層の生活者への打撃は計り知れません。そして、だからこそ仲間の命を守るため奮闘せねばなりません。すでに釜ヶ崎越冬実行委員会の取り組みは始まっています。(なお今の所、1月4日「お礼参り行動」は未定)

期間中、ぜひ釜ヶ崎に直接足を運んでいただき、ご支援をよろしく。また実行委が呼びかけています越冬闘争カンパにもご支援をお願いします。

# 1. 釜ヶ崎講座「12・31 越冬連帯行動」と「新春釜歩きツアーのご案内

会員、読者の皆様、講座は今第54回越冬期間中、恒例となりました下記2つの取り組みを開催させていただきます。多数のご参加をお願いいたします。

## ① 「12・31連帯行動」

越冬闘争を通して釜ヶ崎をより知ってもらうために始めた企画です。当日は今越冬の闘いの特徴や釜ヶ崎の最近の動きを釜日労・佐々木さん等に話してもらい、学習を深めます。午後8時からのなんば・えびす橋にむけた「人民パトロール」に合流します。そのあと「医療パトロール」に参加、越冬の実情を学びます。

- 集合日時 2023年12月31日 19時
- 受付・集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所
- 参加費 無料（事前申し込み不要）

## ② 「2024新春釜ヶ崎歩きツアー」

恒例となりました水野阿修羅さん案内による釜ヶ崎の文化・歴史・闘争など、すべてを網羅すると言ってオーバーではないフィールドワークです。つねに下層の人々の生活と歴史、文化に着眼した水野さんの語りに耳をそばだてると、感動が広がります。

- 集合日時 2024年1月3日（水） 午後12時30分から受付、13時出発  
（時間の厳守、お願いいたします）
- 受付・集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所（前）
- 案内人 水野阿修羅さん
- 参加費 500円（資料代含む） 事前申し込み不要

主催 釜ヶ崎講座（事務局 090-3823-9794）

どちらも多数ご参加ください。お待ちしております。

## 2. 釜ヶ崎講座の代表等変更のお知らせ

報告が遅れましたが、この度10月を境にしまして釜ヶ崎講座の代表者・所在地・連絡先携帯の番号を変更させていただきました。

代表者が渡邊充春から、これまで事務局長だった河村裕昭に代わりました。また後任事務局長は濱本満夫に代わりました。

住所は大阪市港郵便局私書箱40号から、大阪市西成区菟之茶屋2-9-12-202に。  
また携帯連絡先が090-3823-9794に代わりました。

よろしく願いいたします。

渡邊は2000年、当時の釜ヶ崎日雇労働組合書記長の藤井利明さんとともに釜ヶ崎講座を設立しました。

90年代のバブル崩壊による下層労働者の大量切り捨ての結果、2003年には全国2万5千、大阪で1万人に迫るホームレス・野宿労働者があふれました。

当時90年代後半より、釜ヶ崎では釜ヶ崎日雇労働組合等を中心に反失業の闘いが開始され、センター開放や緊急避難シェルターの設置、のちの特別清掃事業につながる公的就労の施策を勝ち取ってきました。

その法的措置としての「ホームレス自立支援法」の立法化への取り組みの中で、釜ヶ崎のこうした運動の宣伝と紹介、支援の拡大の目的で釜ヶ崎講座が生まれました。

以来、渡邊は釜ヶ崎の時々の課題（失業や社会的差別、生活・医療・福祉、文化等）を取り上げながら提起、釜ヶ崎講座の顔として奮闘してきました。

この度、多忙と講座の活性化を考え、代表職を降り、今回の体制変更となりました。

皆様には引き続きのご支援のほどをお願いいたしまして、報告に代えさせていただきます。

☆ これより、「第52回釜ヶ崎夏祭り」以降の講座取り組みの報告です。☆

## 3. 第52回釜ヶ崎夏祭り開催される!

「第52回釜ヶ崎夏祭り」が三角公園をメインにして去る8月12日「前夜祭」を皮切りにスタートしました。

しかし、台風7号の直撃という事態の中、15日の予定だった「慰霊祭」を13日に変更して、やりきっていく、14・15日は台風の様子をにらみながら決めていく事態となりました。

残念ながら14日早朝からの撤収、14・15両日は中止ということとなりました。釜ヶ崎講座は15日、「釜ヶ崎歩きツアー」を予定していましたが、これも案内人の水野阿修羅さんの体調不良と相まって中止とさせてもらいました。

12日前夜祭は辺野古沖縄基地反対や「許さない『慰安婦』性暴力」の課題でこれまでの共同の取り組みを継続してきた仲間が支援に駆けつけて団結を確認でき、新センターのあり方を今後確立していくうえでも仲間の高揚感を高めていくものとなりました。

## 4. 第10回食料配布＆相談会が開催される！

～ 10月28日には「第1回ポンポコカフェ」も開催され、多くの相談者が来場～

夏祭り後の去る8月27日、三角公園をメイン会場として、「住まいと暮らし SOS おおさか実行委員会」主催の「第10回食料配布＆相談会」が開催され、426の食料パックが来場相談者に手渡されました。

当日は約70名の参加団体スタッフ、個人ボランティアが対応し、会場整理や相談者への聞き取り、今後の具体的支援への手続き等、健康・住宅・就労等の困りごとへの迅速な対応に取り組みました。相談ブースには24名の来場者があり、病気受診につなげる手続き等の措置が専門スタッフにより行われました。今後も継続的支援の必要を感じさせる1日でした。

また10月28日には、同実行委員会でのかねてからの目標に上がっていました「子育て所帯・女性を応援するカフェの場をつくりたい」という企画が実現し、西成区社会福祉協議会西成合同庁舎8Fにて「第1回ポンポコカフェ」がもたれました。

前日の準備行動も含め、30名以上のスタッフが会場運営に参加、28日当日は49所帯の相談者が見えられました。

会場は子供さんが遊ぶ遊びのスペースや飲み物・絵本の配置、カフェを楽しみながら困りごとをゆっくりと聞いていける雰囲気の設定がされました。

近年の高齢化及び若年世代・外国人生活者の釜ヶ崎・西成周辺での増加という実態を見ながら、今後も支援の拡大をと感じました。そして何よりも、1人、1人が国籍や性差・さまざまなハンディを超えて安定・安心して暮らせることにつなげられればと感じられる「住まいと暮らしおおさか実行委員会」の取り組みでした。

## 5. 「秋の釜ヶ崎歩きツアー」が開催される

この11月19日に水野阿修羅さんの案内で、夏まつり中、台風のため中止となった「釜歩きツアー」をおこない、総勢8名で釜ヶ崎周辺を歩きました。

この日は釜ヶ崎中心部を少し離れて、浪速区恵美須町周辺から新世界、かつて芸人さんが起居していた、「てんのじ村」と言われた太子町方面を歩きました。

「馬淵館」に代表される無料アパートの歴史、「よせや」といわれる廃品回収処理を生業とする一角、ゲイの人々が社交するお店、通天閣横で若者を引き付けるための飲食街の様子や庶民が通った大衆演劇、こういった場所とその歴史を開いた人々の話を入れながら水野さんが説明し、この日はたっぷり3時間を歩くことが出来ました。

最後はいつもの「わたなべ往診歯科3F」で振り返りのミーティングがおこなわれて、釜日労で講座メンバーの佐々木さんも合流、労働やセンター建て替え問題での受け答えに参加しました。

あらためて「寄せ場」とその周辺で、様々な生業で住み暮らしてきた人々の「しんどさと生きてきたエネルギー」を感じ取ったこの日のツアーだったと思います。

当日参加の皆さん、休憩に便宜をはかっていただいた釜ヶ崎芸術大学スタッフの皆さん、そして水野阿修羅さん、ご苦労様でした。ありがとうございます。

### ◆事務局よりお知らせ◆

日頃は釜ヶ崎講座にご支援・ご協力、感謝いたします。釜ヶ崎講座は会員・読者の皆さんのカンパで運営されております。いつものことで恐縮ですが「振込用紙」を同封しておりますので、皆様のご厚意を宜しくお願いいたします。

◆最後に。 ~3種のチラシを同封しています。①第11回食料配布&相談会(住まいと暮らしSOS おおさか実行委員会)、②いのちと暮らしを守る なんでも相談会(同おおさか実行委員会)、③ロカボ食べながらHIVを知る会第6号です。

釜ヶ崎内外で生活と健康、そしてHIVやLGBTの課題を継続してしかも真剣に語り、解決していく、3つの企画を同封しています。釜ヶ崎講座も参加し、また今後、釜ヶ崎を基盤に協働して取り組む課題として宣伝、同封しています。~